



夏真っ盛りとなり、京都府下でも夏に流行する感染症の報告が増えてきています。
夏によくみられる疾患を確認しておきましょう。※いずれも再登園には「登園届」が必要です。

【ヘルパンギーナ】

●症状

主に発熱や咽頭痛、口腔粘膜に発生する水疱性の発疹です。
口腔内の痛みを訴えることも多く、食事をしたがいなくなる様子もみられるかもしれません。

●治療

ヘルパンギーナの原因となるエンテロウイルスへの特効薬はなく、対処療法が主になります。
食事が摂れなくなると、脱水の危険性があるため、注意が必要です。
刺激が少なく、冷たくて飲み込みやすいものを食べさせてあげると良いでしょう。
冷めたスープや、ゼリー・プリン、冷めたおじや、豆腐などがおすすめです。

【手足口病】

●症状

口腔内や手のひらや足の裏、甲に水疱性の発疹が出現します。発熱することもあります。
お子さんによっては、体幹に発疹が出る場合もあります。

●治療

特効薬はありませんので、対処療法が主になります。上記と同じ様に、脱水を予防していきましょう。

【咽頭結膜熱】

●症状

咽頭痛、結膜炎、発熱が主な症状です。

●治療

原因となるアデノウイルスへの特効薬はありません。こちらも脱水を防ぐことが重要です。

★いずれの疾患も、予防には手洗いが有効です。上記の疾患は大人も罹患することがあります。
ご家族みなさんで予防していきましょう。

【安全なおもちゃで遊ばしう】

6月19日、消費生活用製品安全法により「特定製品」に指定され、製造・輸入、販売が規制されたおもちゃがありますので、ご紹介します。

- ① 磁石製娯楽用品・・・強力な磁力を有する複数個の磁石を組み合わせるマグネットセットなど
- ② 吸水性合成樹脂製玩具・・・水を吸収し、大きく膨らむ吸水性の玩具

上記2つは誤飲により、開腹手術での摘出が必要になる事故が起きています。
ご家庭にもこのようなおもちゃがないか、今一度ご確認ください。

参考：こども家庭庁通知
看護師より

